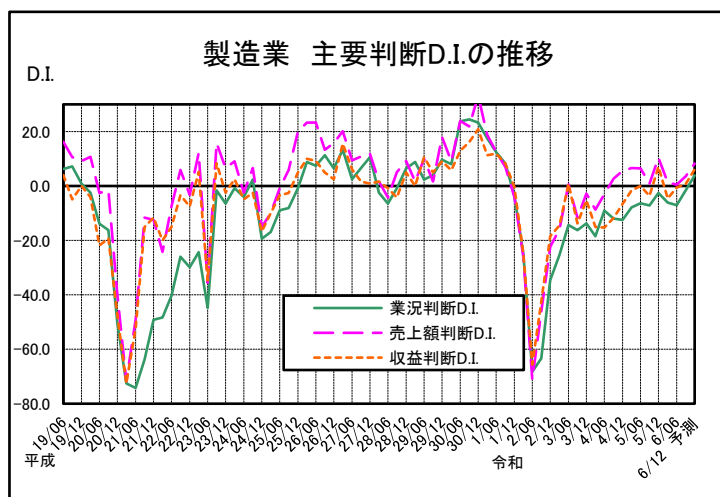


令和6年10月発行

*D.I.は「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める割合から、「減少」(下降)したとする割合を引いて算出。

②業種別の景況



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R6/6	-7.1	0.5	-0.5
R6/9	-1.6	3.6	0.7
R6/12予測	3.9	8.2	6.1

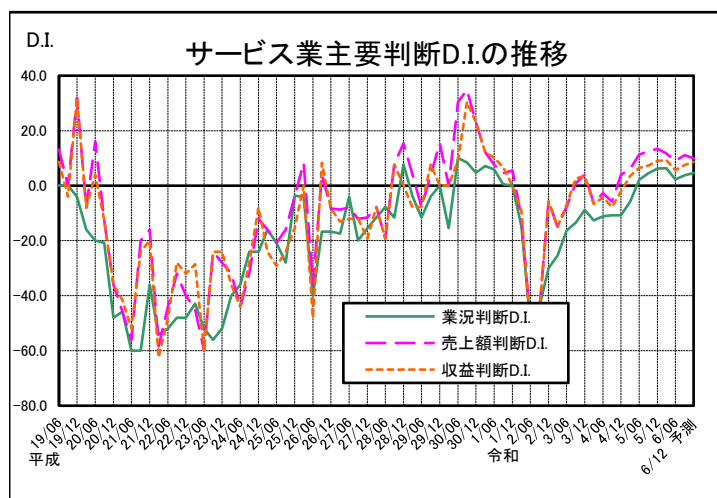
< 製造業 >

・当期業況判断D.I.は▲1.6(前期比+5.5)、当期売上額判断D.I.は3.6(同+3.1)、当期収益判断D.I.は0.7(同+1.2)といずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I. は3.9(当期比+5.5)、売上額判断D.I. は8.2(同+4.6)、収益判断D.I. は6.1(同+5.4)といずれも改善する見通しとなった。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く37.8%、次いで”原材料高”を挙げる企業が22.4%、そして”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が19.5%であった。

・当面の重点経営施策として“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く53.4%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が52.3%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が12.9%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R6/6	2.3	9.0	5.6
R6/9	3.8	11.1	7.5
R6/12予測	4.6	10.0	8.7

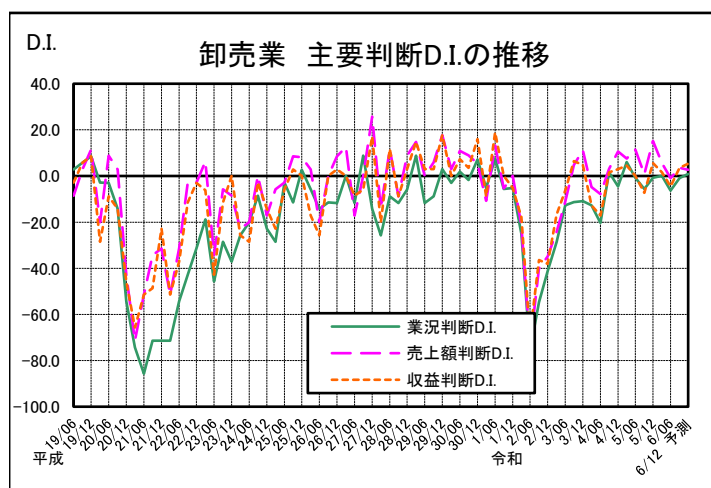
< サービス業 >

・当期業況判断D.I.は3.8(前期比+1.5)、当期売上額判断D.I.は11.1(同+2.1)、当期収益判断D.I.は7.5(同+1.9)といずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は4.6(当期比+0.8)、売上額判断D.I.は10.0(同-1.1)、収益判断D.I.は8.7(同+1.2)となった。

・経営上の問題点として”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が最も多く27.6%、次いで”売上の停滞・減少”を挙げる企業が26.8%、そして”人手不足”を挙げる企業が20.7%であった。

・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く44.0%、次いで”販路を広げる”を挙げる企業が43.2%、そして“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が20.0%であった。



卸売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R6/6	-6.4	-0.9	-4.5
R6/9	-0.9	3.5	3.5
R6/12予測	0.9	2.7	5.3

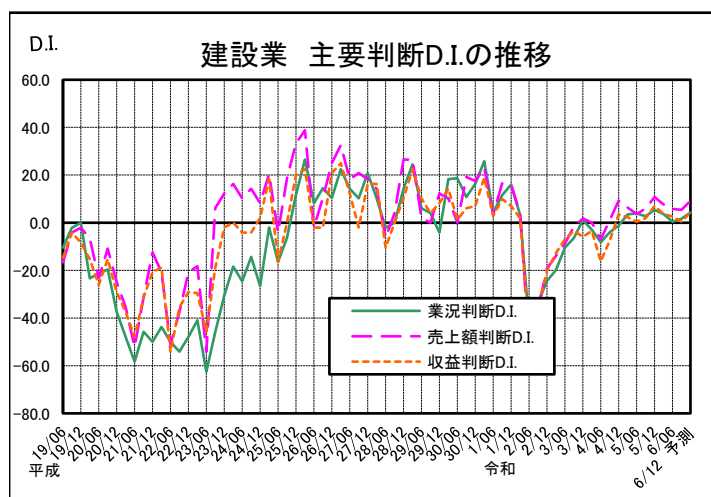
<卸売業>

・当期業況判断D.I.は▲0.9(前期比+5.5)、当期売上額判断D.I.は3.5(同+4.4)、当期収益判断D.I.は3.5(同+8.0)といずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は0.9(当期比+1.8)、売上額判断D.I.は2.7(同-0.8)、収益判断D.I.は5.3(同+1.8)となった。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を上げる企業が最も多く31.9%、次いで”同業者間の競争の激化”を上げる企業が19.5%、そして”人手不足”を上げる企業が15.9%であった。

・当面の重点経営施策としては“販路を広げる”を上げる企業が最も多く54.9%、次いで“経費を節減する”を上げる企業が38.1%、そして“人材を確保する”を上げる企業が10.6%であった。



建設業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R6/6	0.4	5.8	2.6
R6/9	1.7	5.4	0.4
R6/12予測	4.4	9.2	4.4

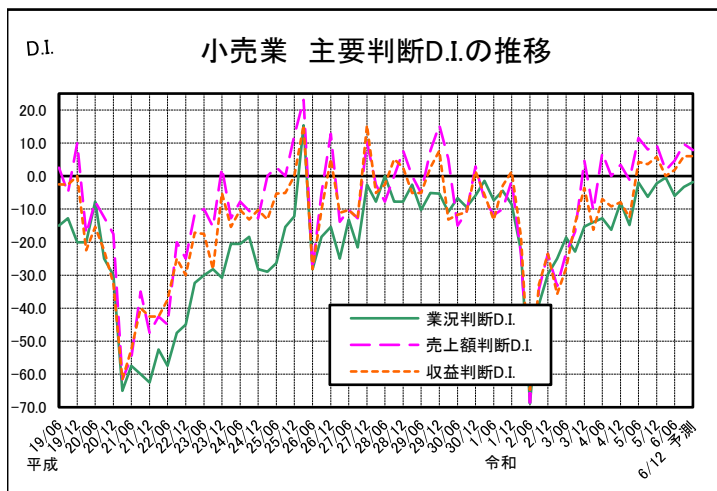
<建設業>

・当期業況判断D.I.は1.7(前期比+1.3)、当期売上額判断D.I.は5.4(同-0.4)、当期収益判断D.I.は0.4(同-2.2)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は4.4(当期比+2.7)、売上額判断D.I.は9.2(同+3.8)、収益判断D.I.は4.4(同+4.0)といずれも改善する見通しとなった。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を上げる企業が最も多く30.9%、次いで”同業者間の競争の激化”を上げる企業が30.1%、そして”材料価格の上昇”を上げる企業が27.3%であった。

・当面の重点経営施策として”販路を広げる”を上げる企業が最も多く55.5%、次いで“経費を節減する”を上げる企業が45.9%、そして“人材を確保する”を上げる企業が16.1%であった。



小売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R6/6	-6.0	4.6	1.9
R6/9	-3.2	9.7	6.0
R6/12予測	-1.9	7.9	6.0

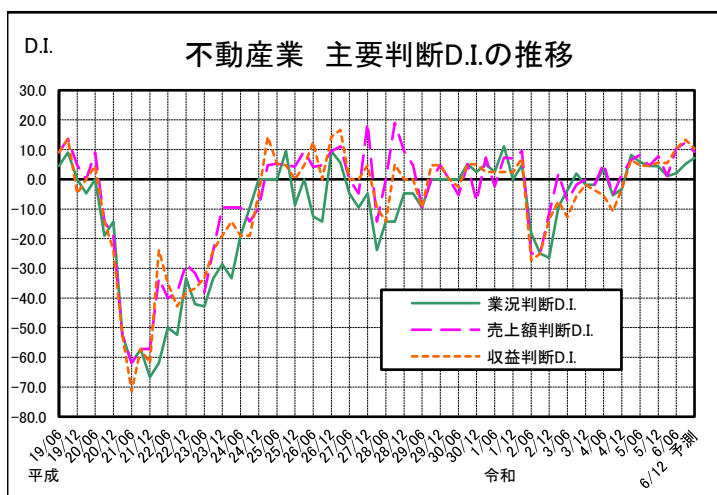
<小売業>

・当期業況判断D.I.は▲3.2(前期比+2.8)、当期売上額判断D.I.は9.7(同+5.1)、当期収益判断D.I.は6.0(同+4.1)といずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲1.9(当期比+1.3)、売上額判断D.I.は7.9(同-1.8)、収益判断D.I.は6.0(同±0)。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く36.6%、次いで”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が25.5%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が19.9%であった。

・当面の重点経営施策としては”経費を節減する”を挙げる企業が最も多く49.5%、次いで”品揃えを改善する”を挙げる企業が25.9%、そして”宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が23.1%であった。



不動産業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R6/6	2.1	10.3	10.3
R6/9	5.2	12.4	13.4
R6/12予測	7.2	9.3	10.3

<不動産業>

・当期業況判断D.I.は5.2(前期比+3.1)、当期売上額判断D.I.は12.4(同+2.1)、当期収益判断D.I.は13.4(同+3.1)といずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は7.2(当期比+2.0)、売上額判断D.I.は9.3(同-3.1)、収益判断D.I.は10.3(同-3.1)となった。

・経営上の問題点として”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が最も多く24.7%、次いで”売上の停滞・減少”を挙げる企業が19.6%、そして”商品物件の不足”を挙げる企業が18.6%であった。

・当面の重点経営施策としては”販路を広げる”を挙げる企業が最も多く34.0%、次いで”経費を節減する”を挙げる企業が27.8%、そして”宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が21.6%であった。